

さようなら原発

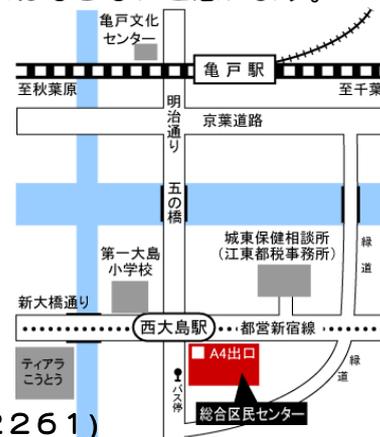
鎌田慧 江東講演会

『脱原発社会に向けて

～福島原発事故が問いかけるもの～』

福島第一原発事故により、多くの住民、原発労働者が被ばくし、広大な大地と海と大気が放射能に汚染され、多くの人のいのちと暮らしが脅かされています。悲惨な原発事故を二度と繰り返さないために、私たちはすべての原発の廃炉、脱原発社会を早急実現しなければならないと思います。

大江健三郎さん、澤地久枝さんなど『さようなら原発 1000 万署名』運動の呼びかけ人のお一人でもあり、長年にわたり原発問題に取りくまれてきた鎌田慧さんから福島原発事故が私たちに突きつけている問題をお話していただき、脱原発社会実現に向けて考えていきたいと思ひます。



参加費 500円

日時 2012年1月30日(月) 18時半～

場所 江東区総合区民センター第5会議室

(都営新宿線『西大島駅』上：江東区大島4-5-1 電話3637-2261)



《鎌田 慧さん プロフィール》

1938年青森県弘前出身。ルポライター。
県立弘前高校卒業後上京。零細工場、ガリ版印刷会社などで働いた後、早稲田大学入学。
卒業後、新聞記者を経てフリーライターとなる。『自動車絶望工場』など、劣悪な条件と差別の下で働く人々の姿を見つめ多数のルポルターージュを執筆。原発については『原発・開発と闘う住民』『日本の原発地帯』『六ヶ所村の記録』『原発列島に行く』など、著作は多数。現在、大江健三郎さんたちと共に脱原発 1000 万人署名、9.19 原発にさようなら5万人集会を呼びかけ、精力的に活動中。

どれくらいの被ばく者が、被ばく労働者が発生しているのか。

その救済を、少しでも始めていかなければなりません。

脱原発運動は、文化革命です。意識を変えていく運動です。

核と人類は、絶対に共存できないのです。

それは広島・長崎、そして今回の福島の事故で証明されています。

どうして、これ以上の犠牲者を作ることができるでしょうか。

私たちは、原発に「さようなら」を言います。

それは、「また会う日まで」の「さようなら」ではありません。

「もう絶対合わない」の「さようなら」です。

それが、原発に対する、私たちのメッセージなのです。

(鎌田さん9・19さようなら原発5万人集会発言要旨から)

主催：さようなら原発一千万人署名江東実行委員会

連絡先：脱原発下町ネットワーク 江東区亀戸7-8-9松基ビル2F 電話03-3638-3366